

会議名	第1回港区芝浦学童クラブ運営事業候補者選考委員会
開催日時	令和3年8月30日(月) 午後3時から午後4時まで
開催場所	Teams を活用した Web 会議
委員	出席者 5名 阿部委員、田中委員、宮地委員、長谷川委員、西川委員
事務局	芝浦港南地区総合支所管理課長、施設運営担当
傍聴者	なし
会議次第	1 開会 2 委員委嘱 3 委員の紹介 4 委員長、副委員長の選出 5 議題審議 議題1 選考スケジュール(案)について 議題2 募集要項(案)について 議題3 審査方法・審査基準について 6 今後のスケジュールについて 7 閉会
配付資料	資料1 港区芝浦学童クラブ運営事業候補者選考委員会設置要綱 資料2 委員名簿 資料3 選考スケジュール 資料4 募集要項 (案) 資料5 選考の進め方 (審査フロー図) 資料6 審査方法について (案) 資料7 第一次審査採点基準表 (案) 資料7-2 第二次審査採点基準表 (案)
会議の結果及び主要な発言	
	1 開会 2 委員委嘱 3 委員紹介 (全委員自己紹介)

	<p>4 委員長、副委員長の選出 互選により阿部委員を委員長に選任。 「港区芝浦学童クラブ運営事業候補者選考委員会設置要綱」に基づき、芝浦港南地区総合支所長を副委員長に選任。</p> <p>5 議題審議 議題1 選考スケジュール(案)について 事務局から説明をお願いします。</p> <p>・事務局から選考スケジュール(案)について説明</p>
委員長	<p>選考スケジュール(案)に関して、審議をいたします。何かご意見はございますか。</p> <p>(承諾)</p> <p>議題2 募集要項(案)について 議題3 審査方法・審査基準について</p>
委員長	<p>「議題2」と「議題3」については、関連する事項ですので、一括して議題とさせていただきます。事務局から説明をお願いします。</p> <p>・事務局から募集要項(案)及び審査方法・審査基準について説明</p>
委員長	<p>募集要項(案)及び審査方法・審査基準に関して、審議をいたします。何かご意見はございますか。</p>
A委員	<p>募集要項1ページ2(4)事業規模について、1億が「億」になっています。</p>
事務局	<p>「億」について修正し、他にも誤字がないか見直します。</p>
B委員	<p>運営提案書 4(8)について、障害のある児童への配慮のみでなく、性的マイノリティへの配慮も必要ではないでしょうか。</p>
事務局	<p>性的マイノリティへの配慮も記載します。</p>
B委員	<p>見積金額の加点について、安ければ良いという風にも受け取れますが、いかがでしょうか。金額で点数の基準を作る方が良いのか、全体的な内容に対する評価にした方が良いのか、ご検討いただければと思います。</p>
事務局	<p>金額が安い方が点数は高くなりますが、あまりにも安いと運営の質に関わってきますので 70%未満は点数が低くなっています。他の地区含めて同じ点数にしています。</p>

C委員	区では経済性も重要視しており、同じ内容の運営であれば金額が安い方が良いとはなりますが、一概に安ければ良いとは考えておりません。
B委員	私に関わってきた中で、細かい基準を初めて見たので気になりましたが、区の考え方ということであれば異論はありません。
D委員	遠足や近所のお祭りへの参加等、コロナで中止となったイベントの代替案はありますか。
事務局	二次審査でコロナ禍での活動や感染予防のため中止とせざるを得ないイベントの代替案についてご質問いただければと思います。
B委員	様式4の類似施設について、事務局採点にした方が良いのではと思いますがいかがでしょうか。
C委員	類似施設を事務局採点にした場合、都市部の施設と地方の施設や定員に違いがある中で、一律の基準を定めることが難しいので、委員の皆さんの知見で評価してほしいと思います。
委員長	その他ご意見がなければ、募集要項、審査方法・審査基準を決定いたしますが、よろしいでしょうか。
	(承諾)
事務局	今回の意見を反映して一部修正の上、募集要項、審査方法・審査基準を決定します。
	6 今後のスケジュールについて ・事務局から今後のスケジュールについて説明
	7 閉会

会議名	第2回港区芝浦学童クラブ運営事業候補者選考委員会
開催日時	令和3年10月15日(金) 午前10時30分から正午まで
開催場所	Teamsを活用したWeb会議
委員	出席者5名 阿部委員、田中委員、宮地委員、長谷川委員、西川委員
事務局	芝浦港南地区総合支所管理課長、施設運営担当
傍聴者	なし
会議次第	1 開会 2 議題審議 議題1 第一次審査通過者の決定について 議題2 第二次審査について ① プレゼンテーションについて ② 追加資料要望の有無について 3 今後のスケジュールについて 4 閉会
配付資料	資料1 第一次審査(書類審査)結果集計表 資料2 第二次審査表 資料3 第二次審査(プレゼンテーション・ヒアリング)方法について(案) 資料4 第1回港区芝浦学童クラブ運営事業候補者選考委員会会議録
会議の結果及び主要な発言	
	1 開会 2 議題審議 議題1 第一次審査通過者の決定について ・事務局から第一次審査集計結果について説明 (事業者A 618点、事業者B 746点、事業者C 776点)
委員長	それでは、第一審査について審議します。各委員から講評をお願いします。
A委員	多ければいいということではありませんが、同種、同規模施設の実績は事業者Bが圧倒的に多いです。施設候補者について立ち上げ後にすぐ代わるのが懸念されますので、二次審査で意識や今までの経験をどう活かすか聞いてみたいと

思います。

研修について事業者Aは具体的に記載されています。事業者Bは具体的に記載されていますが、延べ数なのではと思いますので、二次審査で聞いてみたいです。事業者Cは人材確保の方針はしっかりしていますが、具体化されていない曖昧な部分があるので、こちらも二次審査で確認したいです。

4(3)施設条件の特性を踏まえた事業運営に関する工夫等の項目では、事業者Aは独創性に欠けますが、具体的に書いてあります。事業者Bはより実現性を感じます。事業者Cは子どもにとっていい空間を作り出してくれる期待がもてます。また、点数の転記ミスが1箇所ありますので、後ほど訂正させてください。

B委員

3 事業者並べて1項目ずつ採点をしていきました。まずは事業者Aについてです。全体的に様々な面で不足している印象です。採用状況について未採用の職員が半分ほどいます。また、関係のない五反田地区の防災マップが記載されています。

事業者Bは非常に安定しています。お任せしても問題ないと思います。

事業者Cは非常にしっかりした基本理念に基づいた具体的な提案となっています。子どもを預けるならこういった事業者をお願いしたいです。3事業者の中では事業者Cが抜きんでいると感じます。学童クラブは保育ですが社会教育活動の側面もありますので縦割り活動等を設けているのもとても良いと思いました。

E委員

事業者Aについてです。施設長候補者の経歴は悪くないですが、月曜から土曜まで働いていることになっているので誤りなのではないかと思います。誤字脱字から他自治体の資料が入っていることまで書類を精査していないように見受けられます。インストラクターを派遣した運動プログラムや私立大学との合同プログラム等良い部分もありますが全体的に少し薄い印象です。一方で学生ボランティアの受入等興味深い記述もありましたが、全体的に点数は低めになっています。

事業者Bは区内の実績も一定数あります。マニュアルについて統一されているように見えますが、記述が寂しい気がします。また3(1)日常的な児童の安全確保の取組についての項目ではきっちりと体制をとられている印象を受けました。3(2)事故・災害発生時の対応、区や関係機関への報告・連絡体制についての項目では、安全対策ガイドラインや防災情報メール、緊急メール配信サービスへの登録等、実態を踏まえた記載になっています。4(3)児童からの相談に対する対応についてでは受付の一本化の記述があり、大きな学童クラブですので、こういうのも良いかなと思います。

事業者Cについて3(2)事故・災害発生時の対応、区や関係機関への報告・連絡体制についての項目で児童施設災害行動マニュアル芝浦学童クラブ編を作成すると明確に記載されていることや具体的なBCP計画についても早急に記載するという記載があることから安心感があります。3(1)日常的な児童の安全確保の取組については、ICTを活用したヒューマンエラーを防ぐという新たな提案もあり評価しています。

C委員

事業者A、Bと比べると事業者Cが全体的にしっかりと提案がされているので

Cが高い評価になっています。

事業者Aは全体的に具体性に欠けています。特に3安全対策・危機管理についてもう少ししっかり書いてほしいと思いました。また 2(2)責任者・職員の配置については週3日勤務の非常勤がとても多い上に、これから採用予定の職員も多くの割合を占めています。これから採用する職員の性別を指定しているのも全く理解できません。勤務体制においても平日の体制が18人で大丈夫なのか不安です。事業者Bは 3(1)日常的な児童の安全確保の取組は具体性に欠けます。また、3(2)事故・災害発生時の対応、区や関係機関への報告・連絡体制についての項目では事故発生時の原因究明と再発防止に全く触れられていないことが気になりました。

事業者Cは事業展開にあたっての基本方針、基本理念が非常に明確で分かりやすいと思いました。児童の健全育成の取組については運営視点に偏っていて少し弱いと感じます。2の管理運営について放課後児童支援員の資格をもった常勤の割合が非常に多い点を評価しています。3(1)日常的な児童の安全確保の取組において記述が具体的でマニュアルも整備されています。3(2)事故・災害発生時の対応、区や関係機関への報告・連絡体制についての項目では必要事項がカバーされていて内容も適当であり高く評価しています。

D委員

事業者Aは全体的に具体性に欠けていると思いました。理念はありますがどのように取り組むのかが分かりにくいです。同種施設の実績も弱いです。施設長候補者は類似施設の実績はありますが同種施設の実績があまりないので不安です。子どもを預けるには安定感がないという印象です。

事業者Bについて実績はありますが同規模施設の実績が少ないです。施設長候補者は小規模施設の実績は豊富ですが大規模施設の実績がほとんどないので不安を感じます。施設の衛生管理では換気があまり注視されていない点が気になります。小学校との連携はしっかりとできており評価しています。全体的に安定性のある事業者ですが独創性が足りないと思いました。

事業者Cは大規模施設の実績があります。基本方針も具体的で安定感があります。施設長候補者は同種の勤務実績が足りないと考えます。安全対策においては具体的でしっかりとしています。死角への対応策も取り上げられていました。SDGsの新しい取り組みの記載もあり評価しています。人権教育も非常に具体的な内容でしたので事業者Cを1番高く評価しています。

委員長

各委員の講評を踏まえ、何かご意見や点数の修正のある方はご発言ください。

A委員

事業者Cの4(8)児童の人権に配慮した事業運営について3を4に修正します。転記ミスです。

C委員

事業者Aの同種・類似施設又は事業の運営実績について5を4に修正します。また、2(1)責任者の経歴についても5を4に修正します。2(5)職員欠勤・欠員の事態の対応等についても具体性に若干欠けるということで4を3に修正します。

委員長	点数の修正がありましたので、改めて点数の発表をお願いします。
事務局	事業者Aは 614 点、事業者Bは 746 点、事業者Cは 778 点で確定となります。
全委員	(異議なし)
委員長	事業者Bと事業者Cについて第一次審査通過でよろしいでしょうか。
全委員	(異議なし)
	議題2 第二次審査について
	・事務局から第二次審査について説明
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・時間配分はプレゼン 10 分、ヒアリング 20 分 ・プレゼンは施設長候補者が行う ・出席者は施設長候補者と本部 1 名、現場に精通する職員 1 名の計 3 名 ・資料はA3 片面 1 枚 ・パソコンとプロジェクターは使用不可
全委員	(異議なし)
委員長	追加資料の提出要望はあるでしょうか。 ご意見なければ追加資料の提出は求めないということよろしいでしょうか。
全委員	(異議なし)
	3 今後のスケジュールについて
	4 閉会

会議名	第3回港区芝浦学童クラブ運営事業候補者選考委員会
開催日時	令和3年11月10日(水) 午後7時から午後9まで
開催場所	芝浦港南地区総合支所103会議室
委員	阿部委員、田中委員、宮地委員、長谷川委員、白井委員
事務局	芝浦港南地区総合支所管理課長、施設運営担当
傍聴者	なし
会議次第	1 開会 2 プレゼンテーション及び質疑回答 3 第二次審査結果及び事業候補者の選定について 4 閉会
配布資料	資料1 第二次審査実施概要 資料2 第二次審査採点基準表(2事業者分) 資料3 第2回選考委員会議事録概要 参考資料1 第一次審査集計結果(第一次審査通過事業者のみ抜粋)
会議の結果及び主要な発言	
	<p>1 開会</p> <p>2 プレゼンテーション及び質疑回答</p> <p>事業者B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション ・質疑回答 <p>B委員 どのような児童に育てほしいと考えているか教えてください。</p> <p>事業者B 児童が自己肯定感をもてる施設にしていきたいと考えています。自分が愛され必要とされている、そのようなことを実感できるような時間にしたいです。実施設で行っている取り組みとして、帰りの会に職員や児童が良かったところ、素敵だなと思った行動を発表する時間を設けています。</p> <p>A委員 児童がご意見箱に入れた意見を職員でくみ取ったことで、雰囲気が良くなっ</p>

	た、楽しいイベントができた経験を具体的にいくつか教えてください。
事業者B	トランプやカードゲーム、ボードゲームで大会ができないかと児童から意見があったので職員で企画をして、トランプ大会、UNO大会、マンカラ大会を開催しました。全学年の児童が参加し盛り上がった経験があります。
A委員	死角をどのように見つけ出して対応していくか教えてください。
事業者B	毎日の職員会議で職員の小さな気付きについて対策を話し合います。机の角に頭をぶつけそうになっていたりスライディングをしたときに足をぶつけそうになっていたりした場合はコーナーガードを設置しました。職員たちから意見を集めてインシデントから事故を予防するような対策をとっています。
A委員	マニュアルはありますか。
事業者B	アクシデントの際は、速やかに本部や保護者または自治体に報告するフロー図がマニュアルの中にあります。フロー図に沿って報告を迅速に上げていき対策をとる流れになっています。
E委員	職員を束ねていく上で気を付けている点があれば教えてください。
事業者B	職員会議でしっかりと話し合い、足並みをそろえて同じ対応ができるよう気をつけています。研修等で全職員が同じ考えを持つよう育成できるよう意識しています。
C委員	複数のフロアでの大きな体制ですので、施設長の下で副施設長やリーダーについてはどのようにお考えでしょうか。
事業者B	施設長1人では難しいところもありますので、職員全体で施設を作り上げられるように主任級やリーダーになり得る職員を複数配置します。
C委員	まだ具体的な姿は描き切れてはいるでしょうか。
事業者B	はい。
C委員	リーダーとしての心構えについてお聞かせください。
事業者B	施設内での報告連絡相談が必須と考えています。些細なことであってもすぐに情報が上がってくるような職場にしたいです。また職員ミーティングを念入りに行うことにより、児童の小さな変化や表情をくみ取る時間をしっかりとっていきたいと思っています。

D委員	施設長の経験は長くはないのでしょうか。また、大きな規模の同種の運営経験はないのでしょうか。
事業者B	支援員として11年目、施設長として6年目です。学童270名というような規模の施設は弊社でも経験はありません。現在、学童82名と全児童の施設で勤務しており、全児童の1日の来室が大体100名前後です。
D委員	各階の安全管理と支援体制が大事だと思いますが、どのように考えているのでしょうか。
事業者B	施設長の次に繋がる職務等級者を、できるだけ手厚く準備したいと考えています。本社からの巡回や可能かどうか分かりませんが見守りカメラの設置等フロアが分かれていても、施設長が把握しやすいような環境を作りたいです。
D委員	児童との関わりの中で1番感動的でこの仕事をしてよかったなあと思ったエピソードを教えてください。
事業者B	例年高学年の児童が夏祭りの企画から運営までを行っています。企画をすべてやり切った4年生が、今日は1日丸ごと全部楽しかったと、笑顔で帰っていたことがとてもうれしかったエピソードです。
C委員	悩みを抱えた児童に、どのように寄り添っていくのかを教えてください。
事業者B	児童から発信してくれないケースも多いと思います。毎日児童の顔を見ていく中で変化に気づいた場合は、場所を変えて他児がいない静かな場所で聞き取りを行ったり、一緒に遊ぶ中で声を掛けたりすることで児童から話してくれることもあります。日頃の表情から変化から、児童に声をかけていくことを大切に、関わっていきたいと思っています。
C委員	児童が抱えている問題を聞き出して、その後どのように対応していきますか。
事業者B	対応方法を考え、学校の問題であれば、学級担任に相談、情報共有し、学級でも取り組んでいただくこともあります。学校とも密に連携をとって対応していきたいと思っています。
委員長	時間になりましたので、質疑を終了します。ありがとうございました。
	(採点)
事業者C	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション ・質疑回答

B委員	児童をどのように育ててどのように育ってほしいと思っているかお話しいただけますか。
事業者C	児童には、たくましく生きてほしいという願いがあります。子どもが子どもらしく生きられる社会を作り、児童が自分自身で育っていくと力を発揮できるような環境を整えていくことが一番大切ではないかと考えています。
A委員	現場からの声で実施した研修や勉強会について教えてください。
事業者C	おやつ選び方について歯科衛生士を講師として招き研修を実施しました。虫歯のリスクが下げられる組み合わせ等について学びました。
A委員	もっと力をつけてもらいたい能力がある場合に施設長からその職員に研修を勧めることはありましたか。
事業者C	おやつ担当や国際担当等、役割を各職員が担っておりますので、役割に適した研修があった場合には研修を勧めています。
A委員	こどもおやつ会議に児童が取り組んでいる様子を教えてください。
事業者C	食べたいものを児童に聞いたりとか、一緒に生協のメニューを見て選んだりしています。
E委員	実務経験年数の長いスタッフを安定的に確保するために努力していることはありますか。
事業者C	当法人が学童クラブ事業を始めたのが15年ほど前です。当時からのスタッフが多く残ってくれています。また、若手も育成しており中堅どころが多く在籍しています。
C委員	最善の利益が確保されて安全安心な居場所と記載がありますが、児童にとっての最善の利益についてどのように考えていますか。
事業者C	児童が安心して暮らせる場所、児童のやりたいという気持ちをできる限り実現できる場所であることが大切です。
C委員	縦割りクラスのお考え方について教えてください。
事業者C	学校の同学年だけの人間関係と異なり、異学年で過ごすことによって、様々な経験を踏み、思いやり、憧れ、責任感等が養われると考えております。5階の運動スペースでは同世代で遊べる時間作り、児童がフラストレーション

	をためないようバランスのとれた育成をしたいと考えております。
C委員	下校時間が異なる等、縦割りのデメリットはありますか。
事業者C	下校時間に合わせてフロアを分けておやつの時間を過ごす等、フロア内で部屋の使い分けをしています。子供たちに充分に対応できるよう職員を配置し、丁寧に見ています。
D委員	野外キャンプやスポーツ等、今までの経験を今後どのように活かしたいと考えていますか。
事業者C	1人1人の子供を大切に見ていくことは若いころから大切にしている思いです。オフィスビルの中ですので、活発に動くことは難しいかもしれませんが、子供の笑顔が見れる活動、子供の命が輝くような活動を通して、児童の表情を見ながら過ごしていくという今まで私が行ってきたことは屋外でも屋内でもできるものだと思います。
D委員	高学年への仕掛けづくりについて具体的に教えてください。
事業者C	学童クラブでの時間の使い方を自由に決めさせています。また、5階の運動スペースで高学年だけで思いっきり遊べるような時間帯を作っています。
委員長	時間になりましたので、質疑を終了します。ありがとうございました。
	(採点)
	3 第二次審査結果及び事業候補者の選定について
	事務局から集計結果について説明をお願いします。
	事業者B、第一次審査 746 点、第二次審査 384 点、合計 1130 点。 事業者C、第一次審査 778 点、第二次審査 432 点、合計 1210 点です。
	各委員から講評をお願いします。
B委員	事業者Bはフロア別施設での安全面で不安があるので点を低くしました。事業者Cは施設長候補者が色々なことを把握されていて、自分の子どもでも預けてみたい思える提案でした。
A委員	事業者Bも事業者Cも施設長候補者を見て、提案書を含めどちらもお任せできると思いました。

E委員	事業者Cは施設長と職員が一緒に取り組んでいると感じました。フロアの違いに対する安全性の部分で事業者Cをこう評価にしています。
C委員	施設長候補者については事業者Bを高く評価をしました。受け答えがしっかりしていて、立派な施設長になると思いました。ただ、定員 270 名の大きな施設ですので人員体制についてしっかりと考えられていないことに不安を感じます。事業者Cの施設長候補者は、統括的な役割果たしていて、周囲の職員と助け合いながら上手く運営をまわせると思いました。
D委員	安全管理について事業者Cの方が具体的で、実現性がありました。また中堅職員が多くいるのが良い条件だと思います。事業者Bは、大規模学童クラブの運営という観点がぬけていました。
委員長	ただいまの講評を受けまして点数の修正や他に何かご意見あるでしょうか。
D委員	事業者Cの「提案書の実現性」を 12 から 16 に「施設長候補者の考え方や能力等と本部支援」も 12 から 16 に修正します。また事業者Bの「施設長候補者の考え方や能力等と本部支援」を 12 から 16 に修正します。
委員長	それではこの結果を踏まえまして事業者Cを運営事業候補者として選定するという事よろしいでしょうか
全委員	(異議なし)
委員長	事務局から運営事業候補者の事業者名を発表してください。
事務局	事業者Cは公益財団法人東京YMCAです。
	4 閉会